

ステークホルダーとのコミュニケーション

百五銀行グループは、本業を通じた地域の社会課題の解決と経済発展の両立を図ることにより、ステークホルダーの皆さまの期待に応えるとともに、株主総会やお取引先懇話会、会社説明会を通じて、積極的な情報開示に努め、ステークホルダーの皆さまからのご意見・ご要望などを伺うことで経営改善につなげています。

お客さまとのコミュニケーション

お取引先懇話会

毎年、地域のお客さまとのリレーションシップの強化や積極的な情報開示を図るため、お取引先懇話会を開催しています。2023年度は、8月から9月にかけて、三重県、愛知県の5か所で8回開催し、業績内容をはじめ、脱炭素への取組みや地域創生、SDGsへの取組みなどの事業内容とその成果について頭取が説明しました。当行役員、グループ会社社長なども参加し、ご意見・ご要望などお客さまからの声を直接伺うことでコミュニケーションを図るとともに経営改善につなげています。

開催年月	開催場所(招待地区)	参加人数
2023年8月	津市(津地区)	122名
	伊勢市(伊勢・鳥羽志摩地区)	97名
	名古屋市(愛知地区)	109名
	四日市市(桑名・鈴鹿地区)	128名
2023年9月	四日市市(四日市地区)	139名
	松阪市(松阪・紀州地区)	107名
	名古屋市(愛知地区)	119名
	津市(伊賀・津地区)	110名



お客さまアンケートの実施

当行と百五証券は、金融庁が公表した「顧客本位の業務運営に関する原則」(2021年1月15日改訂)に則り取組方針を定め、お客さまの声を反映しながら、取組状況を定期的に公表しています。その一環として投資信託をご購入いただいたお客さまに対して「お客さまアンケート」を実施し、お客さまから提案内容に対する評価とともにご意見、ご要望をいただいています。そのお客さまの声をもとにサービスの向上・業務の改善に積極的に取り組んでいます。



お客さま本位の業務運営宣言と取組方針
https://www.hyakugo.co.jp/gyoumu_unei_sengen/



お客さまからいただいた主な意見・要望

- ・提案機会の増加と質の向上
- ・百五証券でインターネット取引ができるようにしてほしい
- ・幅広い商品ラインアップの充実
- ・資産運用セミナーを再開してほしい

主なサービス向上・業務改善への取組内容

- ・お客さまに応じた資産運用プランを提案するため、百五グループでの営業体制へ変更しました
- ・百五証券オンライントレードのサービス提供を開始しました
- ・新NISAが利用可能なファンドを中心に新ファンドを導入し、投資信託のラインアップを拡充しました
- ・資産運用セミナーを再開しました(6地区9回開催)

地域社会とのコミュニケーション

ボランティア活動「ウォーカソン」

当行が2015年から協賛しているセントヨゼフ女子学園主催のボランティア活動「ウォーカソン」に2023年も行員29名が参加し、10km(もしくは5km)のコースを生徒の皆さんはじめ学校関係者の方々と歩きました。ウォーカソンは、募金活動の一つで、参加者が歩いた距離に応じて自ら探したスポンサーから事前に約束していた募金を受け取るというものです。本募金の支援先の国々の子どものなかには学校に通うため、毎日10km以上舗装されていない道を歩いている子どももいます。その子どもたちの気持ちを共有し想像するために10kmを歩く募金活動となっています。今回、集められた募金総額はおよそ134万円となり、シエラレオネ、フィリピンの人々の教育支援のほか、国境なき医師団、シロニアムの園(ケニア)への募金として使われる予定です。



スポーツ振興の取り組み

当行では、全日本卓球選手権大会をはじめ数々の国際大会などで活躍する津市出身の戸上隼輔選手を、スポンサーとして応援しています。

2023年12月、津卓球協会主催、当行協賛の「百五銀行杯争奪卓球大会」を2日間にわたり開催しました。

コロナ禍の影響で4年ぶりの開催となった本大会では、三重県内をはじめ愛知県、滋賀県からなど、小学生から80代までの一般の方々約840人が出場し熱戦が繰り広げられるとともに、参加者同士の交流を深める機会にもなりました。

当行は今後もスポーツ大会への協賛やトップアスリートの活躍支援などを通じ、地域の皆さまと喜びを味わうことで、豊かな地域社会の実現に貢献していきます。



写真提供：井村屋グループ

株主・投資家とのコミュニケーション

当行では毎年6月に丸之内本部棟において定時株主総会を開催しているほか、国内外の証券会社、機関投資家・アナリストなどを対象とした会社説明会を定期的で開催し、株主・投資家の皆さまとの対話の強化、コミュニケーションに努めています。

2023年度は、対面形式（東京）とWEB形式で5月に決算期、11月に中間決算期のインフォメーションミーティング（IR）を開催しました。

IRについては収録した音声の説明資料とともに、当行ホームページにてご視聴いただけます。なお、国内外の機関投資家さまとの個別会社説明会も随時開催しています。

2023年度 活動実績

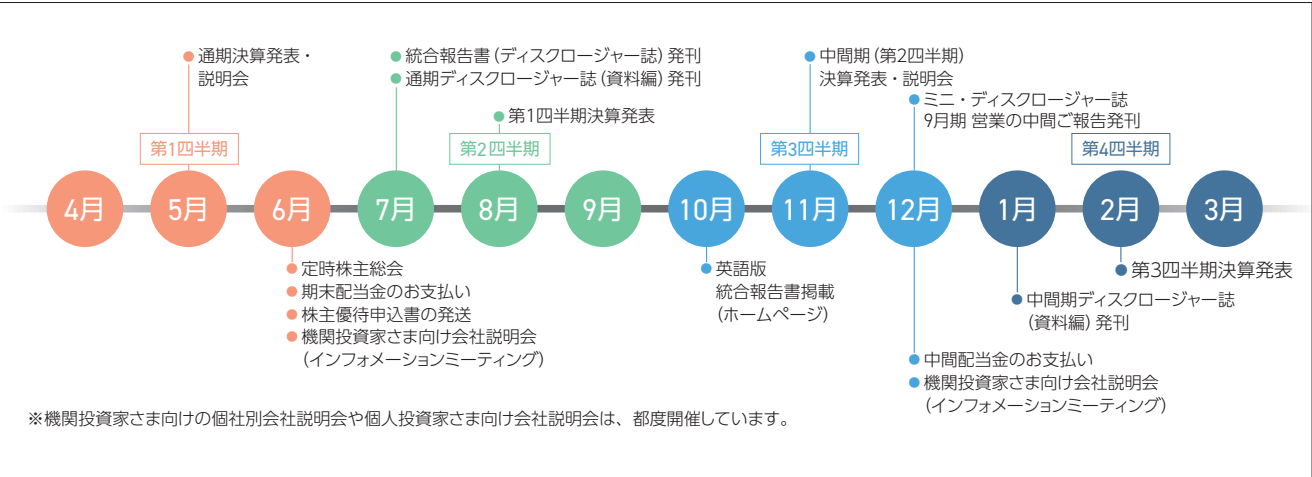
株主総会	参加者数（オンライン参加含む）	264名
決算説明会	開催回数	2回
	参加者数（オンライン参加含む）	128名
アナリスト・機関投資家との個別面談件数		14件



百五銀行グループ ホームページ「株主・投資家の皆さま」
<https://www.hyakugo.co.jp/ir/>



IRカレンダー



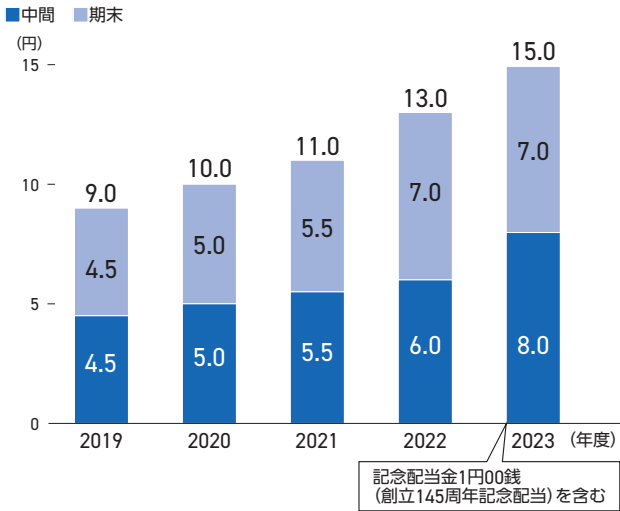
株主還元

株主配当

当行は、健全経営の維持・強化を図るため、内部留保の充実に努めるとともに、株主の皆さまに対して、安定的な利益還元を実施することを基本方針としています。

当行の基本方針にもとづき、株主の皆さまへの2023年度の1株あたり配当額（年間）は、15.0円といたしました。2024年度は1株あたり配当額（年間）16.0円を予定しています。

配当金の推移



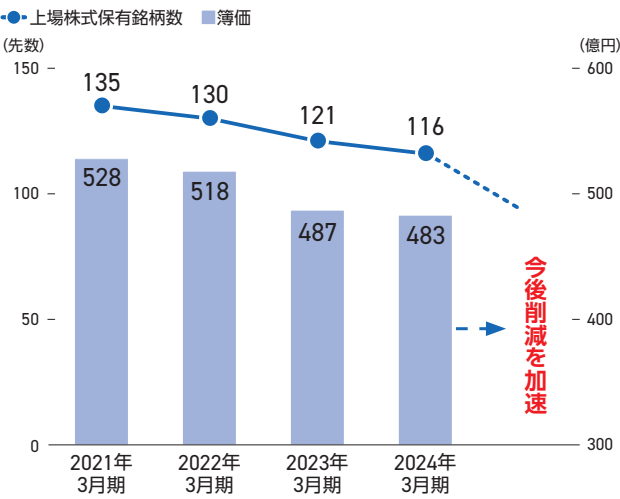
政策保有株式の状況

政策保有株式の縮減方針

政策保有株式については、その保有意義や企業価値の向上に資するかを判断し、投資先との継続した対話を通じて縮減を進めていくことを基本方針としています。売却の合意を得られた先についても、銀行取引等を継続している場合は、引き続き政策投資株式として管理いたします。売却にあたっては、資本コスト等との比較を行い、運用効率の観点から優先順位をつけて判断していきます。

政策保有株式の売却資金については、これまで以上に人的資本やDXなどへの戦略的投資への活用を加速させる考えです。

政策保有株式保有銘柄数（上場）及び簿価推移



※ グループ会社株式を除く

株主優待制度

当行では、日頃のご愛顧に感謝を込めて、株主さまのご優待制度を導入しています。毎年3月末時点で1,000株以上を保有いただいている株主さまに三重県ゆかりの名産品を掲載したギフトカタログをお送りしています。

対象となる株主さま	毎年3月31日現在の当行株主名簿に記載された1,000株以上をお持ちの株主さま
株主優待の内容	三重県ゆかりの名産品を掲載した「株主さまご優待ギフトカタログ」のなかから、保有株式数に応じてお好みの一品をお選びいただけます。



保有株式数	お選びいただける特産品
1,000株以上 5,000株未満	3,000円相当
5,000株以上	5,000円相当

情報開示

ディスクロージャー誌「統合報告書」の発行

当行では、百五銀行 統合報告書(HYAKUGO BANK REPORT)を発行しています。本報告書は、財務情報と非財務情報の両方の観点で構成され、当行の経営状況や持続的な成長への取り組み、中長期的な価値創造などを掲載しています。具体的には、中長期の経営戦略、企業統治(ガバナンス)の仕組み、また当行が地域金融機関として、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいる活動などを写真や数値データとともに紹介しています。最新版の「百五銀行 統合報告書 2024」は、各営業店の窓口にご用意しています。

また、銀行法第21条にもとづくディスクロージャー誌(資料編)は、毎年7月と1月に発行しています。当行ホームページをご覧ください。

ホームページ

当行の経営や商品・サービス、キャンペーンなどに関する情報をタイムリーに掲載していきます。IR資料やディスクロージャー誌などの財務情報は「株主・投資家の皆さま」の категорияからご覧いただけます。



百五銀行グループ ホームページ
<https://www.hyakugo.co.jp/>

